

校長室の窓から ～夢の扉第18号～vol. 68 R3. 8. 19 (木)

後期補習が始まりました。

文責 学校長



～武陵祭(文化祭・体育祭)の準備・練習も始まりました。～

1 東京2020オリンピックの感動をエネルギーにこの暑い夏を乗り切りましょう。

柔道の「兄妹で金」、レスリングの「姉妹で金」、卓球の「幼馴染で金」、女子ソフトの「13年越しの金」、野球の「悲願の金」、フェンシングの「まさかの金」などなど、数々の感動を残して東京2020オリンピックが閉幕しました。チームジャパンとしても史上最多のメダルを獲得し記憶にも記録にも残る大会で、また国内外の選手の活躍に勇気と感動をもらいました。休止していた補習も始まりました。五輪の感動をエネルギーにして残りの夏を乗り切りましょう。

2 全国の舞台に挑戦・・・少林寺拳法部全国入賞を果たしました。全国総文祭も開催。

7月28日～8月1日に福井県福井市「9. 98スタジアム」で行われた全国総体陸上競技に3名、7月29日～8月1日に新潟県上越市で行われた弓道競技に6名、7月30日～8月1日に長野県佐久市で行われた少林寺拳法競技に14名が出場しました。少林寺拳法競技では男子組演武で高野・福田組が**全国6位**に、女子組演武で佐藤・古賀組が**全国5位**にそれぞれ入賞しました。また、8月3・4日に和歌山県那智勝浦で囲碁部門、和歌山県橋本市で写真部門、8月5・6日に和歌山県和歌山市で吹奏楽部門がそれぞれ開催され、囲碁部門に3名、写真部門に1名、合同吹奏楽団として2名が参加しました。なお、8月17日～20日に長野県長野市で開催の全国総体水泳競技に1名が参加しています。

3 体験入学・武雄青陵中学校とのジョイントスタディを開催しました。

8月2日(月)に本校で体験入学を、3日(火)に武雄青陵中学校で中学1・2年生とのジョイントスタディを行いました。また、中学3年生が武雄高校の授業を体験しました。、高校生が中学生に勉強を教えるという従来の方法を今年も新型コロナウイルス感染防止のため、「先輩に聞こう」という、高校生活や学習方法を中学生にレクチャーするというスタイルに変えて実施しました。中学3年生は武雄高校の先生から「高校の授業のレベルを知ろう」という内容の授業を体験しました。協力していただいた生徒・先生方有難うございました。



4 今週の名言・・・森岡毅(戦略家・マーケター)の言葉です。

○大変革を起こすなら人に嫌われることを恐れるな。人に嫌われることを考えていたら思い切ったことは何もできません。

○ゴールは途中で変わってもいいと思います。私の場合もそうでしたから。20代で今の姿を描いていたかというところではありません。その都度ゴールは明確に描いていましたが、必要に応じて何度も変わっていった。それでいい。

【解説】前号(第17号)の「今週の一冊」の著者、森岡毅氏の言葉です。森岡氏はその著の中で、「やりたいことがわからなくて悩む君に」と題して、次のようにアドバイスしています。「**キャリア戦略とは、その人の目的達成のために、その人が持っている特徴を認識して、その特徴が強みに変わる文脈を探して泳いでいく、その勝ち筋を考えるということだ**」と述べています。わかりやすく解説すると「①自分の今を肯定できる君の特徴は何か。②その特徴が自分の強み(宝物)となるように必至に磨くこと。③その強みを活かす文脈(志望学部・職業)は何かを探すこと。④同じような強みを持つ人たちと比較される中で相対的に秀でるように宝物を頑張って磨きながら選択した文脈の中で泳いでいくこと。」となるでしょう。森岡氏は自分のキャリアを形作っていくのは「自分の特徴」をしっかりと認識し、「自分の強み」としていくことだと述べています。「自分のやりたいことがわからない」・「自分がどの学部・学科に進めばいいかわからない」・「自分がどんな職業につきたいのかわからない」と悩んでいる諸君は、まずは**自分の強みにできる教科・科目を作ることが大切**ではないでしょうか。1科目でも得意な科目ができてくれば、それが君の強み(宝物)となって進路も人生も開けてきますよ。苦手科目の克服に時間を費やすことも大切ですが、**得意科目を徹底的に伸ばした方が可能性は広がります**。

【森岡毅について】前号(17号)の「今週の一冊」の著者紹介を参照してください。

5 今週の話事成語・・・「韓信の股くぐり」【問題】英語で表現すると?

将来に大志を抱く者は、屈辱にもよく耐えるというたとえ。(出典:『史記』より)

【由来】「韓信」とは、漢の天下統一に功績のあった名将。韓信が若い頃、町のごろつきに喧嘩を売られたが、韓信は大志を抱く身であったからごろつきと争うことを避けました。言われるまま彼の股の下をくぐらされるという屈辱をあえて受けましたが、その後韓信は大成し、天下統一のために活躍したという故事に基づく言葉です。将来に大望のある者は、目の前の小さな悔いを忍ぶべきという戒めであります。



6 どこかおかしい日本語(その18)・・・目上の人に使うと間違いです。わかりますか?

①ご苦労さまです ②了解しました ③しばらくぶりです ④いつもお世話様です ⑤ご一緒します

7 今週の一冊・・・町田そのこの『52ヘルツのクジラたち』(中央公論新社)です。

52ヘルツのクジラとは一他の鯨が聞き取れない高い周波数で鳴く、世界で一頭だけのクジラ。たくさんの仲間がいるはずなのに何も届かない、何も届けられない。そのため、世界で一番孤独だと言われている。自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる一。(参考:本書裏表紙説明より)



【解説】本屋大賞を受賞した作品です。現代社会に潜む様々な問題やテーマ(児童虐待・ネグレクト・LGBTに対する偏見・引きこもり・ニート・誹謗中傷等々)を詰め込んだ考えさせられる小説です。自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年のふとした出会いがやがて二人の人生を変えるきっかけとなり、命の再生へと物語は進んでいきます。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、主人公の「わたしは、あなたの誰にも届かない52ヘルツの声を聴くよ。」の一言から、新たな魂の物語が生まれる感動の一冊です。

【作者・町田そのこについて】1980年生まれ。福岡県在住。「カメルーンの青い魚」で第十五回「女による女のためのR-18文学賞」大賞を受賞。2017年に同作を含む『夜空に泳ぐチョコレートグラミー』でデビュー。ほかの著書に『ぎょらん』『コンビニ兄弟ーテナネス門司港こがね村店ー』などがある。(参考:本書表紙裏の著者紹介文より)

8 世界遺産を巡る(日本編)・・・第18回は富岡製糸場と絹産業遺産群(登録年:2014年)

【解説】富岡製糸場と絹産業遺産群は、世界経済の貿易を通じた一体化が進んだ19世紀後半から20世紀にかけて、高品質な生糸の大量生産の実現に貢献した技術交流と技術革新を示す集合体です。その結果、世界の絹産業の発展と絹消費の大衆化がもたらされました。この技術革新は、製糸技術の革新と、原料となる良質な繭の増産を支えた養蚕技術の革新の双方が相まって成し遂げられました。本資産は、製糸とこれを支える養蚕の技術革新の過程を示す構成要素を併せ持ち、生糸を生産する過程全体を今日に伝える顕著な見本です。(参考:文化庁HP『日本の世界遺産一覧』より)



9 街角グルメを訪ねて・・・第18回は嬉野市の「PIZZERIA MONTE STELLA」です。

一昨年8月に旧嬉野医療センター近く、元湯旅館の隣に新しくオープンしたイタリアンのお店です。嬉野町のホテル「ハミルトン宇礼志野」がプロデュースした、本格イタリアンを気軽に楽しめる店で、イタリアで5年間修行したシェフが、嬉野産食材をふんだんに使い、ピザやパスタ、南イタリアの伝統料理などをふるまいます。

先日、お昼にランチをいただきに足を延ばしてみました。ランチはA・B2種類用意されており、この日はBランチを楽しみました。前菜もパスタも絶品です。



【Aランチ】1,100円(込)

- ・サラダ・ピザ or パスタ
- ・デザート
- ・コーヒー or 嬉野紅茶

【Bランチ】1,500円(込)

- ・前菜盛り合わせ
- ・ピザ or パスタ
- ・デザート
- ・コーヒー or 嬉野紅茶



(嬉野市嬉野町下宿乙 2202-7
11:30-14:00 17:30-21:00 不定休)

10 保護者の皆様へ・・・お盆の帰省でさらに感染が拡大してくるかもしれません。

「東京2020オリンピック」でアスリートたちの皆さんの活躍に日本中が沸き立ち、大きな感動を与えていただきました。しかし、一方で7月下旬から畏るべき第5波が押し寄せ、8月のお盆の帰省で全国的に感染が拡大しています。後期補習が始まりましたが、お子様及びご家族の体調に異変がある場合には、登校を控えてください。

【英語】 Those who have aspirations for the future endure humiliation well.

【正解】①お疲れ様です②承知しました・かしこまりました③お久しぶりです④いつもお世話になっております⑤お供させていただきます【解説】①目下の人に対して用いる言葉で「お疲れさまです」が適切です。②敬意のないフランクな表現です。「承知しました」または「かしこまりました」を用いるようにしましょう。③しばらくです」は同僚や目下に対して用いる表現です。たとえば「お久しぶりです」であれば、相手の立場に関係なく用いる表現になるので、失礼にまではあたりません。ただ、敬意を表すうえでは「ご無沙汰しておりました」を用いるようにしましょう。④「お世話様です」は、「ご苦労さまです」と同じような使い方、目上の人に対して用いるべきではない表現です。「いつもお世話になっております」が適切です。⑤「ご一緒」という言葉は、対等な関係で使われるものです。目上の人から「一緒に行くか?」と誘われたときには「お供させていただきます」が正しい表現です。